



サクラ咲く、 つばめの春



①桜が満開の大河津分水桜並木／
②、⑤、⑧、⑪桜マラソン大会参加者の皆さん／③、④、⑥、⑨、⑩分水おいらん道中（③舞妓、④分水太夫、⑥信濃太夫、⑨着付け体験、⑩桜太夫）／⑦夜桜Shu*Kura

⑦		①			
⑩	⑧	③		②	
	⑨	⑤		④	
⑪		⑥			

「日本さくら名所100選」に選ばれている「大河津分水桜並木」。世紀の大事業「大河津分水工事」の偉業を称えて植えられたこの桜は、今年も盛大に咲き誇り、多くの観桜客で賑わいました。

この桜並木にて、4月11日に「燕さくらマラソン大会」、12日に「分水おいらん道中」を開催しました。

燕さくらマラソン大会では、過去最多の1953人のランナーがエントリー。全国各地からランナーが集結し、春風が心地よく吹く桜並木の中を駆け抜きました。

天候に恵まれ、快晴の中迎えた分水おいらん道中。大正13年頃の有志が花見客向けに行った仮装行列が起源といわれています。当日は、歴史と自然の美しさが融合した光景が広がり、絢爛豪華な衣裳を身につけた「おいらん役」をはじめ、総勢61人の行列が2万4000人の観客を魅了しました。

また、7日、8日には分水駅にJR臨時列車の快速「夜桜Shu*Kura」号が停車。ライトアップされた満開の夜桜が乗客と地元の人たちを虜にしました。

つばめの春の風景